

令和5年 第119回多可町議会定例会 一般質問

(1日目) 3月17日(金) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
1	大山由郎	子育て家庭への支援強化を	町長
2	門脇教蔵	守れ町内業者	町長
		急げ少子化対策	町長
3	橋尾哲夫	豊部バイパスに防犯灯の設置を	町長
		船坂トンネルの照明灯の改修について	町長
		子育て世代に新たな支援策を	町長
4	廣畑幸子	プラザの今後の役割をどう考えるか	町長
5	藤本一昭	強盗・特殊詐欺に対しての防犯対策は	町長
		多可町総合戦略の見直しについて	町長
		統合中学校に該当する学年としない学年の対策は	教育長
6	吉田政義	中学校の部活動の地域連携(地域移行)の現状は	教育長
		未来予想図を描ける社会づくりの構築は	町長
7	足立吉継	防犯カメラ設置に伴う管理規定と住民への周知について	町長
8	市位裕文	プラザ・中学校の建設に伴う跡地施設	町長

(2日目) 3月20日(月) 午前9時30分から

質問順	質問議員	質問事項	答弁を求める者
9	内橋志郎	脱炭素化の推進について	町長
		多可町強靱化地域計画の進捗状況について	町長
		心の間に光を求めて	教育長
10	清水俊博	再生エネルギー(太陽光発電施設)と地域課題(景観保全等)解決の為「ポジティブゾーニング」手法を	町長
		特定空き家になる前に「アクション」を! (増加する管理不全空き家へ適切な措置・対応を)	町長
		自治体DX導入への工程は万全か (誰ひとり取り残さない取り組みを問う!)	町長
11	門脇保文	図書館について 情報の収集の拠点である	教育長
		地域共生社会づくり推進拠点の設置 社会福祉協議会を中心に「共生社会づくり」	町長
		子育てするならダントツ多可町の評価 負のスパイラルから脱却手腕を問う	町長
12	藤原清勝	令和5年4月からの地域局の業務変更について	町長
		水道メーター検針業務の効率化について	町長
13	日原茂樹	民生委員の担い手不足解消に取り組み	町長
		元気アップ広場をもっと広めよ	町長

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 大山 由郎

受 領 日	番号
令和 5年 2月 21日 午前 8時 30分	1

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 子育て家庭への支援強化を	町長
別紙にて	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

☆子育て家庭への支援強化を

児童の権利に関する条約には、子どもの生まれた時の立場（国籍やその有無等）を含むあらゆる差別を禁じている。また、子どもの権利を守る上で、その権利が保護者や国、社会から正当に守られ、尊重されるよう構成されている。

わが国には、施策の根幹に児童の権利に関する条例の理念を踏まえ、子どもと家庭への支援を形作る総合的立法としての児童福祉法がある。

そして、家庭支援については、改正児童福祉法において、家庭相談に応じることが市町村の業務として明確に規定された。

いつの時代も子どもを一人前に育てるのは簡単なことではない。子育て支援、家庭支援、子どもへの支援が肝要であり、現状把握が重要だ。また、相談体制の強化、社会的養護の継続も必要だ。

- 1, 「子育て世帯が抱える子ども家庭福祉に関する課題の把握は十分か」
 - ①乳幼児健康診査の受診、就学前のこども園等の利用率は
 - ②こども園等に所属しない3歳未満の幼児について、健診以外の時点におけるの状態把握は
 - ③乳児家庭全戸訪問事業について、関係機関との連携等での課題は
- 2, 「母子保健と子ども家庭福祉の連携は進んでいるか、連携で可能か一体化が必要か」
 - ①地域子育て支援拠点事業での問題点は
 - ②母子健康包括支援の状況は
- 3, 「町をはじめとした各相談機関において、必要な家庭への体系立てた支援を十分に提供できているか」
 - ①地域子ども・子育て支援事業の課題は
 - ②育児休業制度等の利用率は
 - ③障がい者（児）の支援において、高齢者や障がい者（成人）を対象とするものと比べてケアマネジメント（プランニング）を行う体制やソースが不足していることは

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 門脇 教蔵

受 領 日	番号
令和 5 年 2 月 2 1 日 午前 8 時 5 4 分	2

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 守れ町内業者	町長
<p>当町においては、今後、生涯学習まちづくりプラザ、町立統合中学校建設、ゴミ処理施設等大型事業が計画されています。そこで、地元業者優先発注について。最近各市町においては、地元業者育成及び地域経済の活性化を図るため、地元業者優先発注等に係る実施方針を定め、適正な競争原理のもと公平性を確保した上で、地元業者への優先発注及び町内製品の優先活用を推進する必要があると考えます。</p> <p>そこで、多可町において、どのような運用対象、目的、実施方針を設けているのか。</p>	
2. 急げ少子化対策	町長
<p>人口減少とりわけ少子化に対する取り組みについて質問いたします。</p> <p>我が国は世界に類を見ない人口減少社会に突入しており、最も高齢化が進んだ先進国であります。25 パーセントを超え、今や人口の 3 割が 65 歳以上という超高齢化時代を迎え、医療、福祉、介護のサービス保障の在り方にも改革が必要になっています。と同時に、少子化への対策も急がなければならない重要なテーマであり喫緊の課題だと考えます。</p> <p>そこで多可町の人口減少とりわけ少子化についての現状は、どのように認識されているのか。お伺いいたします。</p>	

一般質問通告書

【第119回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 橋尾 哲夫

受 領 日	番号
令和 5年 2月24日 午後 4時15分	3

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1, 豊部バイパスに防犯灯の設置を	町長
<p>昨年6月に開通した豊部バイパスには防犯灯がなく、冬場の暗がりに児童生徒が下校しています。西脇市の市原バイパスは西脇市がバイパスと同時に防犯灯も設置し、夜でも明るく生徒等や住民のウォーキングに問題ないようです。</p> <p>住民から冬場の歩行が不安との声があります。早急に、児童生徒に事故が起き無いうちに防犯灯を設置すべきです。事故が起きてからでは遅すぎます。町長の答弁を求めます。</p>	
2, 船坂トンネルの照明灯の改修について	町長
<p>船坂トンネルの照明灯の半分以上は消え、トンネル内が暗い、歩くことが怖いとの住民の声が出ています。県・市川町と協議し、早急に照明灯の改修工事を実施すべきです。町長の答弁を求めます。</p>	
3, 子育て世代に新たな支援策を	町長
<p>町は子育てするならダントツ多可町と町長の説明ですが、果たしてダントツか疑問です。</p> <p>2月19日、岸田首相は岡山県奈義町に少子化対策視察に来ています。人口約5700人、多可町の3分1の人口です。</p> <p>出生率2・95です。多可町1・17です。奈義町の良い施策を取り入れ出生率を高め、真の町を目出すべきです。</p> <p>町長の答弁を求めます。</p>	

1 令和5年度予算案を確認すれば、豊部バイパス防犯灯設置費2,265千円が計上されています。

令和4年度の予備費を充て、1本25万円で10本250万円です。

令和5年度予算では遅いので議会に説明し、豊部バイパスの防犯灯は早急に設置すること。

2 船坂トンネルの竣工は1998年（平成10年）10月です。長さ656m。

本年で25年が経過します。県も点検等は毎年実施されていますが、トンネルの中央から多可町よりの照明灯は大半が消えており、歩くにも足元が暗く歩きにくい。

八千代トンネルは2005年（平成17年）3月竣工。長さ411m。照明灯半分14基がついています。

3 具体的施策は次の通りです。

(1) こどもの塾等費用月1万円の補助。大阪市

(2) 多可しごとえんの設置 奈義町

(3) 新成人18歳祝い金5万円 南相馬市

(4) 出生率2・95へ 奈義町

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 廣畑 幸子

受 領 日	番号
令和 5年 2月 24日 午後 5時 00分	4

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. プラザの今後の役割をどう考えるか。	町長
別紙参照	
2.	
3.	

質 問 の 内 容

「プラザの今後の役割をどう考えるか」についてお聞きします。

現在多可町には、中プラザ・加美プラザ・八千代プラザがあります。その中で加美プラザ・八千代プラザは地域局の機能も備えています。

現在令和7年4月開館に向けた、生涯学習まちづくりプラザ建設への事業が進められています。高齢者から子どもまで全ての方が集えるよう、住民の意見もたくさんお聞きし、いろいろな工夫も出てくるのだろうなと思っています。

2月に、加美プラザ・八千代プラザの窓口業務見直しの説明を受けました。マイナンバーカードの普及に伴い、コンビニでの諸証明の発行が増えています。そのため、地域局での諸証明の発行件数が激減しているなどで、業務の見直しをしたいと言う説明でした。

しかし、地域局の機能が全て無くなるわけではなく、対応が簡潔な業務は継続されます。

とはいえプラザは本来地域局機能だけで無く、住民皆さまの利活用もどんどんしていただきたい施設なのですが、コロナ禍でそれもままならず、利用数は減ってしまっていると思います。

現在は少しずつ戻ってきているとは思いますが、せっかくのプラザです。もっともっと大勢の方に使っていただけるよう、また拠点となることを考えなければなりません。

もちろん「生涯学習まちづくりプラザ」ができれば、多可町の拠点となりますが、加美・八千代両プラザも「まちづくりプラザ」に続く拠点となるべきだと思います。

高齢者が気軽に立ち寄ることができる工夫、子育て中の親御さんたちも気軽に立ち寄れる工夫が必要です。そんな、住民のニーズに合った施設利用を考えなければなりません。

例えばですが、図書館に行けば書籍などの情報があると同じように、プラザに行けば、施設や設備の情報がある、また案内もしてくれるなどの機能を持つということはどうでしょうか。

先日、町内の設備などの話をする機会がありました。

私は、陶芸の設備は加美区だけにあると思っていましたが、八千代区にもありますよと言われてました。また八千代中学校の調理室には、立派なオーブンがありますよとも言われていました。

プラザ内の施設では、子育て中の親御さん達が使いやすい「子育て支援室」という部屋があります。

皆さんがよくお使いになる子育てふれあいセンターですが、利用時間は午前10時から午後3時までです。

しかし「子育て支援室」は、加美プラザの開館時間午前8時30分から午後10時まで使えます。

そう言えば、以前中区の方がここは夜も使えて助かっていますとおっしゃっていました。

プラザは、住民にとって憩いの場であるべき大事な施設です。

今後のプラザの役割、方向性をお聞きします。

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 藤本 一昭

受 領 日	番号
令和 5 年 3 月 2 日 午前 8 時 3 0 分	5

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 強盗・特殊詐欺に対する防犯対策は	町長
<p>オレオレ詐欺が多発しています、電話などでは、劇場型詐欺や SNS を利用して指定口座にうまく誘導して送金させることやメールなどを活用してフィッシング詐欺など様々な形で横行しています。最近では、エスカレートして、多くの強盗事件などが発生しております。改めて治安確保と防犯対策の強化が求められています。そして、住民が詐欺から身を守るために、防犯教育が必要となっています。多可町では、詐欺事件と防犯対策を今後どのように展開されるか答弁を求めます。</p>	
2. 多可町総合戦略の見直しについて	町長
<p>多可町総合戦略の見直しがなされるようですが、各計画期間の途中にもかかわらず改訂するのか説明を求めます。</p> <p>そして、国のデジタル田園都市国家構想による交付金の審査の適用条件に於いて必要であるとのことですが、新計画にどのような方針で総合計画を策定するのか答弁を求めます。</p>	
3. 統合中学校に該当する学年としない学年の対策は	教育長
<p>新 4 年生は、統合中学校の 1 年生となります。また新中学 1 年生は、現中学校の体制の最後の学年になります。この学年の児童生徒は、精神的に様々なストレスがあるものと考えられます。</p> <p>児童生徒に対して、心のケアも含めて慎重であるべきと考えますが、教育長の対応策や所見を求めます。</p>	

質 問 の 内 容

1. オレオレ詐欺が多発しています。電話などでは、劇場型詐欺や SNS を利用して指定口座にうまく誘導して送金させることやメールなどを活用してフィッシング詐欺など様々な形で横行しています。最近では、エスカレートして、多くの強盗事件などが発生しております。改めて治安確保と防犯対策の強化が求められています。そして、住民が詐欺から身を守るために、防犯教育が必要となっています。多可町では、詐欺事件と防犯対策を今後どのように展開されるか答弁を求めます。

オレオレ詐欺には 親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）手口です。

銀行口座を狙って、預貯金詐欺、キャッシュカード詐欺、各種利用料の架空料金請求詐欺、行政からの還付金詐欺などの巧妙化しています。

これらに対して、住民が詐欺から身を守るためにも、防犯教育や啓発が必要となっています。

多可町では、これら詐欺事件と防犯対策に生活相談を含めた対策が求められていますが、今後どのように展開されるか答弁を求めます。

2. 多可町総合戦略の見直しについて

多可町総合戦略の見直しがなされるようですが、各計画期間の途中にもかかわらず改訂するのか説明を求めます。

そして、国のデジタル田園都市国家構想による交付金の審査の適用条件に於いて必要であるとのことですが、新計画にどのような方針で総合計画を策定するのか答弁を求めます。

3. 統合中学校に該当する学年としない学年の対策は

小学新4年生は、統合中学校の1年生となります。また新中学1年生は、現中学校の体制の最後の学年になります。これらの学年の児童生徒は、精神的に様々なストレスがあるものと考えられます。

中学校については、当然統合中学校に関心が集まります。実際にその校舎を利用する子どもは、楽しみでもあり目標となるものと思います。

しかしながら新中学1年生は、どうしても現在の学校の最終学年として3年間を過ごします。そのうち後輩の学年との生活の体制となり、心の不安定や連帯感が進みにくいなどの精神的なストレスがあるものと考えます。

これらのことを踏まえて、児童生徒に対して、心のケアも含めて慎重であるべきだと考えますが、教育長の対応策や所見を求めます。

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 吉田 政義

受 領 日	番号
令和 5 年 3 月 2 日 午前 9 時 1 0 分	6

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 中学校の部活動の地域連携（地域移行）の現状は	教育長
<p>国の有識者会議は少子化と教員の働き方改革を受け、公立中学校の部活動を外部に委ねる地域移行を提言。各自治体に学校とスポーツや文化の地域団体、企業などが連携できる体制づくりを求め、休日指導や引率の移行を打ち出した。移行期限を撤廃し、地域移行への前段階として、地域連携を示し、地域の人による部活動指導員や合同部活動の活用も勧めている。多可町では地域移行で、どのように議論し、今後につなげていくのかを伺います。</p>	
2. 未来予想図を描ける社会づくりの構築は	町 長
<p>平成 2 7 年に政府が掲げた合計特殊出生率の目標が 1.8 です。この出生率は、一人の女性が一生の間に産む子どもの数を示しています。令和 3 年には、1.3 まで落ち込んでいます。現在の人口規模を維持するのに必要な 2.06～2.07 には遠く及ばず、希望出生率の水準も 1984 年以降実現できていません。</p> <p>国では異次元の少子化対策を唱え、多可町も「子育てするならダントツ多可町」を掲げて、予算編成を行っております。また、他市町でも同様に子育て支援を前面に予算を組まれております。喜ばしいことだと思います。しかし、子どもが産まれてからの子育て支援も重要ですが、今、手を打つべきは、若者たちの社会生活の安定と将来への不安を解消し、未来予想図を描けるような社会の構築だと思います。でなければ、結婚すらできない。将来結婚したいと思っている若者は約 8 割といわれています。人口減少が不可避である以上、少子化対策など出生数減を緩める施策と並んで、どう社会を機能させていくのか議論すべきです。町長の見解を求めます。</p>	

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 足立 吉継

受 領 日	番号
令和 5 年 3 月 6 日 午前 8 時 3 0 分	7

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 防犯カメラ設置に伴う管理規定と住民への周知について	町長
<p>先日、役場総務課に行きましたら大型モニターが設置され、1階のロビーが映し出されており、そこにはマイナンバーカード申請で来庁されたであろう住民の方や業務に従事する職員が見えました。</p> <p>見て回ったところカメラは8台あり、今回1階フロアーに2台が増設されています。1階の窓口では様々な手続きがあり、見られたくないことも多いはずです。またマイナンバーカードの手続きブースも映っており、暗証番号を入力するところも映っていました。防犯の意味から設置はやむなしですが、住民のプライバシー保護も気になりますし、ずっと監視状態で業務にあたる職員のモチベーションも気になります。役場のまた宿直室にも同じ大型モニターが設置され、そちらでも見る事が出来ました。お隣の丹波市には要綱があり、適切に管理されているようです。今後、各学校や、生涯学習まちづくりプラザ等にも防犯上必要なため設置されると思いますので、このまま運用されるのは良くないと思います。適切な手続きを経てから運用すれば、加古川市ではカメラを多く設置し、犯罪が減ったと聞いています。</p> <p>そこで質問いたします。</p> <p>1点目、設置管理規定と公開規定はどうされていますか。</p> <p>2点目、カメラは録画と録音両方されていますか。総務課、宿直室の設置位置からみると、職員が誰でも見る事が出来るのですか。</p> <p>3点目、住民のプライバシー保護のためにも、入り口に監視カメラ設置や録画中などの啓発が必要ですが、どうされますか</p> <p>4点目、今後、小中学校や生涯学習まちづくりプラザなどに設置する予定は。町長の見解をお聞かせください。</p>	

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 市位 裕文

受 領 日	番号
令和 5年 3月 6日 午前 8時30分	8

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. プラザ・中学校の建設に伴う跡地施設	町長
<p>多可町では、現在令和7年・8年に向けてまちづくりプラザと統合中学校の建設計画を急ピッチで進めています。まちづくりプラザにおいては完成イメージ図も提出されました。</p> <p>統合中学校においても専門部会が立ち上がり、校歌・校章・制服などが議論されています。当然建設予定地も決まり、誰もが疑う余地もありません。</p> <p>多可町にとっては大規模事業です。これにより、住みよい安全な町づくりがなされると信じています。</p> <p>そこで私の心配するのは、数多くできる空き施設です。考えただけでも、加美中学校・八千代中学校、この施設だけでも広大なグラウンドと校舎、体育館など付帯施設もあります。また多可町図書館も跡地施設になります。</p> <p>中区の消防庁舎も空き施設のままです。公共施設再配置計画にのっとり適切に処理されると思います。地域住民の意向もあります。今回八千代北小学校跡地施設では、検討委員会に参加させてもらい、何年もかけてプレゼンに至り、現地視察も重ねて誘致に至り、完璧であると思っていたのに、今は残念ながら係争中です。二度とあってはならない事です。</p> <p>両中学校も現在使用中ですので、教育委員会の担当ですので、財政課として誘致活動は難しいと思いますが、このままでは跡地施設としていつまでも放置される危険性があります。多可町図書館も同様です。至る所に空き施設だらけになります。取り壊す施設、利活用する施設があります。</p> <p>人口減少・少子化と問題は数々あります。これから増える空き施設をプラスとするかマイナスとするかの分岐点です。</p> <p>是非とも、多可町としての考え方をお示してください。</p>	

一般質問通告書

【第119回定例会】

多可町議会議員 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 内橋 志郎

受 領 日	番号
令和 5年 3月 6日 午前 8時30分	9

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 脱炭素化の推進について	町長
<p>温室効果ガスの影響で兵庫県の年平均気温が100年あたり約1.4℃上昇しているようです。そして、地球温暖化による気候変動が懸念される中で、脱炭素化などカーボンニュートラルを目指す動きが加速しています。脱炭素とは、地球温暖化の要因となる二酸化炭素の排出をゼロにしようとする取り組みのことです。一方、国は、令和5年度、公共施設等の脱炭素化の取組を計画的に実施できるよう、新たに脱炭素化推進事業費を計上しています。多可町の豊かな自然環境を未来に残すために、脱炭素化の取組は如何ですか。</p>	
2. 多可町強靱化地域計画の進捗状況について	町長
<p>トルコ大地震で5万人以上の死亡者が確認され、現地では今も多くの方が避難生活を余儀なくされています。多可町では、大規模災害が起こっても機能不全に陥らず、より強くてしなやかな地域の構築を目指し、強靱化に関する指針となる多可町強靱化地域計画を策定されています。なお、推進期間は令和2年度から令和6年度です。脆弱性評価の結果を踏まえ、「起きてはならない最悪の事態」を回避するために、施策を推進されていると思います。令和2年度から3年を過ぎましたが進捗は如何ですか。</p>	
3. 心の闇に光を求めて	教育長
<p>3月1日、埼玉県戸田市の市立中学校に17歳の男子高校生が侵入し、教員を刃物で切りつけ、殺人未遂容疑で逮捕された。「誰でもいいから人を殺したいと思った」と供述しているという。その二日後の3月3日、今度は広島市の市立中学校のトイレで、1年生の男子生徒が同じクラスの男子を包丁で切り付け、数か所に軽傷を負わせた。男子生徒は、「相手は誰でも良かった」などと話した。動機が見えない。「心の闇」。その心の闇の中で、少しでも光を見い出すことが出来なかったのか。教育長の所見を伺います。</p>	

質 問 の 内 容

1. 脱炭素化の取組みの推進について

温室効果ガスの影響で兵庫県の年平均気温が100年あたり約1.4℃上昇しているようです。身近な問題としても温暖化により猛暑日が増えています。この状態が続けば、災害のリスクや熱中症などの健康被害の増大などになってしまいます。こうしたことから、世界でも、地球温暖化による気候変動が、懸念される中で、脱炭素化などカーボンニュートラルを目指す動きが、加速しています。脱炭素とは、地球温暖化の要因となる二酸化炭素の排出をゼロにしようとする取組みのことであり、国は、令和5年度、公共施設等の脱炭素化の取組を計画的に実施できるよう、新たに脱炭素化推進事業費を計上しています。そこで、お尋ねいたします。多可町の豊かな自然環境を未来に残すために、脱炭素化の取組みは、如何ですか。

2. 多可町強靱化地域計画の進捗状況について

トルコ南部で2月6日に起きたマグニチュード7.8の地震やそのあとの大きな揺れにより、5万人以上の死亡者が確認され、現地では、今も多くの方が避難生活を余儀なくされています。亡くなられた方々のご冥福と、被災された方々にお見舞いを申し上げます。ところで、多可町では、「わたしたちのまちは、わたしたちでまもる」ことを基本理念として、町民と行政が一体となった防災のまちづくりを進めています。一方、国及び県と一体となった取組みを推進し、大規模災害が起こっても機能不全に陥らず、より強くてしなやかな地域の構築を目指し、令和2年度、強靱化に関する指針となる「多可町強靱化地域計画」を策定されています。その推進期間は、令和2年度から令和6年度の5年間です。脆弱性評価の結果を踏まえ、「起きてはならない最悪の事態」を回避するために、国及び県、他市町等と連携のうえ、国事業、交付金等を活用し、施策を推進されていると思います。そこで、お尋ねいたします。令和2年度から3年を過ぎましたが、進捗状況は如何ですか。

質 問 の 内 容

3. 動機が見えず、心の闇に光を求めて

3月1日、埼玉県戸田市の市立中学校に17歳の男子高校生が侵入し、教員を刃物で切りつけ、殺人未遂容疑で逮捕されました。県警などによりますと「誰でもいいから、人を殺したいと思った」と供述しているようです。その二日後の3月3日、今度は、広島市の市立中学校のトイレで、1年生の男子生徒が、同じクラスの男子を包丁で切り付け、数か所に軽傷を負わせました。男子生徒は、「相手は、誰でも良かった」などと話している。そして、校長は、3日夜、報道陣の取材に「事件を起こした生徒のトラブルは把握していない。何が原因かわからない」と述べた。と神戸新聞が3月4日報じています。動機が見えない。「心の闇」。その心の闇の中に、少しでも、光を見い出すことが、出来なかったのか。なぜ、社会に、衝撃を与えるような事件、動機が見えない事件が、起きたのか。教育長の所見を伺います。

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 清水 俊博

受 領 日	番号
令和 5年 3月 7日 午前 8時30分	10

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
<p>1. 再生エネルギー（太陽光発電施設）と地域課題（景観保全等）解決の為「ポジティブゾーニング」手法を！</p> <p>脱炭素社会の実現には太陽光などの再エネ発電設備が不可欠ですが、メガソーラー（大規模太陽光発電所）開発による森林伐採などの問題に伴い、若者ら開発に伴う景観悪化に懸念をもつ地域住民も存在します。再エネ発電設備の開発を進めるために開発地域住民との円滑な合意形成が必要です。以下伺います</p> <p>1. 改正温対法への取り組み体制、工程表等その具体は</p> <p>2. 「再エネ導入量」の目標、「再エネ促進区域」の設定は如何に</p> <p>3. 地域の環境保全、社会の持続的発展の為、取り組みの具体はなにか</p>	町 長
<p>2. 特定空き家になる前に「アクション」を！ （増加する管理不全空き家へ適切な措置・対応を）</p> <p>2015年の空き家対策特別措置法の施行から、2019年10月迄の4年半で、全国で除却に至った件数は7,500件。所有者による除却を含め2019年迄の累計約7万物件と進んでいます。他方、地域によっては増加傾向にもなっています。予備軍の「管理不全の空き家」への対応等が必要です。以下伺います。</p> <p>1. 本町での特定空き家件数及び解体等解消に至った件数は</p> <p>2. 解消に至った要因、阻害する要因は何と認識されていますか</p> <p>3. 阻害要因の解消へ効果的な対応策の具体を示して下さい。</p>	町 長
<p>3. 自治体 DX 導入への工程は万全か （誰ひとり取り残さない取り組みを問う！）</p> <p>業務効率化、省人化、コスト削減を主目的とする ICT 化、町民本位の行政、地域、社会の実現を主目的とするデジタル変革を、明確に区別しデジタルもあくまで手段であり、住民本位で最適なアプローチをはかることが重要です。その導入の成否に大きく影響すると思われる事項について答弁を求めます。</p> <p>1. 本町の AI、RPA の導入率は如何ほどですか</p> <p>2. 人材の確保はどのようにお考えですか、その育成方針は如何に</p> <p>3. 推進体制はどのようにお考えですか、その進捗の状況は</p>	町 長

質 問 の 内 容

① 再生エネ（太陽光施設）と地域課題（景観保全）解決
太陽光発電施設の設置を推進する地域 VS 抑制する地域に区分し、
環境等への負荷、影響を最小化「ゾーニング」と言う手法。

買取価格を引き上げるという選択肢は国民負担の観点からも想定しづ
らい状況にある現在。 如何に再生エネ 増産を図るのか

日本の平地面積はドイツの2倍あり、国土面積あたりの太陽光導入
容量は主要国の中で最大であります。他方、地理的条件もあり地域
と共生しつつ、安価に事業が実施できる「適地」が不足している
という懸念の声も非常に多い状況にありその為、多方面からのテコ入
れ策が議論されるところであります。

- ・ 太陽光発電事業が頭打ちの中での産業の維持・再構築
 - ・ PPAなどのFIT制度に頼らないビジネスの推進 創造
 - ・ 環境、景観の保全・地域共生・適地の確保・・・
- です。

③自治体 DX 導入への工程を問う

「利用者中心の行政サービスの徹底」を目標に、提供者目線になりが
ちであった行政の存在意義を利用者目線のものへ転換していくこと
自治体デジタル化の成功のカギは、人材と体制創りが成否のカギであ
り、誤りのない準備が必要と考えます。

1. デジタル化に大きく影響する人材の確保は

業務担当課だけでは不足するICTリテラシーの補充、経験者等で構
成された委員で支援する体制も必要です。

全庁的ICTガバナンスの強化や、民間企業、国・地方公共団体の動
向を踏まえたICTに関する専門的視点に立った助言及び技術支援を
ICTベンダーから受けられる体制を備えていく必要があります。

2. デジタル化の推進体制はどのようにお考えでしょうか。

進めていく自治体情報システム標準化は、ただシステムを入れ替えた
だけとならないよう、業務プロセスの見直しや関連業務も含めたシス
テムの最適化を図り、手続の簡素化、迅速化、行政の効率化等を進め
る体制づくり（横ぐしでの共通理解体制）重要です。

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 門脇 保文

受 領 日	番号
令和 5年 3月 7日 午前 8時 30分	11

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 図書館について 情報の収集の拠点である	教育長
町の活性化に於いての情報拠点 地域での問題解決のための情報提供としての役割。 また、図書館は地域の情報センター（情報ネットワークのかなめ）。図書館は世界を広げる、その窓口は市町村の図書館や学校の図書館である。地方における図書館は大都市圏以上の良い図書館が必要であるが、実態は逆である。そのためにも以下の内容に取り組む必要があると考える。	
2. 地域共生社会づくり推進拠点の設置 社会福祉協議会を中心に「共生社会づくり」	町長
「『地域共生社会』の実現を推進するために、地域課題の解決力強化、公的支援の『縦割り』から『丸ごと』への転換を図る体制の整備等目指した事業を展開します。『コークゼミ・あったかは～とらいん』を継続開催すると共に、修了生の活用を広げ、住民と共同し、さらなる事業の推進・強化を図ります。」予算額が 3,566,000 円計上されましたが、どのような取り組みをされるのか。	
3. 子育てするならダントツ多可町の評価 負のスパイラルから脱却手腕を問う	町長
吉田町長は、6年前に町長になられ、少子高齢化時代を迎える中「子育てするなら多可町」を基本理念として取り組んでこられました。その間に、私は、子供の減少に歯止めをかけるには思いきった政策が必要だと提案してきました。振り返ってみて本当にこれで良かったのか？子供の減少も止まることなく。また、高齢者においても医療費は上がり続けています。ただ救いは、高齢者数がピークを過ぎ、少しずつ減っていますが高齢者比率は増えています。この原因は出生率が低いからです。検証をもとに今年度の予算について問う。	

質 問 の 内 容

1. 図書館について

情報の収集の拠点である

町民の暮らしに役立つサービスを提供しながら本との出会い、人との交流が生まれる生涯学習の拠点としての運営を行い「人づくり、町づくり」を進めます。3,420万円の予算がついております。

地域での問題解決のための情報提供としての役割担う図書館の実情。

- ① 住民の情報拠点になるためにはどのような仕組みをどう構築するか？
- ② 色んな仕事や色んな分野の教育に関しての知りたい情報がすぐに手に入る。
- ③ 国の図書館や歴史文献、世界情勢や環境情報、保健機構、最先端技術、特許・知的財産情報等がすぐに手に入る
- ④ 日常生活に於ける最先端医学書、認知症や食生活、習慣病、健康寿命を延ばすためのエビデンス等の情報が手に入る。

この様な事が現在どの程度できているのかを問う。

また、図書館は地域の情報センター（情報ネットワークのかなめ）。図書館は世界を広げる、その窓口は市町村の図書館や学校の図書館である。

地方における図書館は大都市圏以上の良い図書館が必要であるが、実態は逆である。そのためにも以下の内容に取り組む必要があると考える。

- ① 情報過疎をつくらない。
- ② 地域間競争…情報の取り方を指導する。
- ③ みんなの集まる所。
- ④ 地域の今や歴史を知らせ蓄積するところ。

図書の貸し出し数や人数ばかり報告されるが、図書館機能としては最低このような事が求められ、図書館は絶えず変化しているか。情報、知識、変革を育むところでもある。多可町は今後「生涯学習まちづくりプラザ建設内に併設する図書館」を含め、どのように取り組み変革していくのか？教育長の所見を問う。

2. 地域共生社会づくり推進拠点の設置

加美・八千代各プラザで今まで住民台帳の取り扱い業務をやめ、本庁舎での取り扱いにする代わりに、「国が進める『地域共生社会』の実現のために、地域課題の解決力強化、公的支援の『縦割り』から『丸ごと』への転換を図る体制の整備等目出した事業を展開します。『コークゼミ・あったかは～とらいん』を継続開催すると共に、修了生の活用を広げ、住民と共同し、さらなる事業

の推進・強化を図ります。」との事で、予算額が 3,566,000 円計上されましたが、どのような取り組みをされるのか。

各地域局の局長には総務課が担当し運営されて行かれますが、住民の皆様を理解して頂くためにも、今後の各地域局プラザの取組について具体的な内容をお聞きしたいと思います。

また 6 年前から取り組んできたコークゼミ修了生らの活躍を考えておられるようですが、住民にとっては、お店屋さんや病院が近くにない事で、日常生活の不安や困りごとを持たれている世帯が多くあります。

積極的に住民の皆さんに解り易く「地域共生社会」の大切さを説明し、積極的に参画して頂くように実現に向けて進めて頂きたい。

3. 子育てするならダントツ多可町の評価

吉田町長は、6 年前に町長になられ、少子高齢化時代を迎える中「子育てするなら多可町」を基本理念として取り組んでこられました。その間に、私は、子供の減少に歯止めをかけるには思いきった政策が必要だと提案してきました。振り返ってみて本当にこれで良かったのか？子供の減少も止まることなく。また、高齢者においても医療費は上がり続けています。ただ救いは、高齢者数がピークを過ぎ、少しずつ減っていますが高齢者比率は増えています。この原因は出生率が低いからです。検証をもとに今年度の予算について問う。

1. 子供の生める環境づくりができていますのでしょうか。
2. 沢山の子供に恵まれる家庭環境を創設されたのでしょうか。
3. 子供が少ないから、学校の統廃合が必要になって来たのではないか。
4. 多可町の素晴らしさを住民に子供達に教えてこなかった。
5. 高齢世帯同志が、協力して地域を支えていかなければならない。
6. 少しでも健康でありたい「健幸ポイント」が住民に浸透しかけた。
7. 若者が少ないために「地域共生社会づくり」が必要になってきた。
8. ボランティア活動してもらえる町民がどのぐらい、いるのだろうか？
9. 空き家が増える。空き家バンクの登録、活用、どうする。
10. 店屋が無い。病院まで誰が運んでくれる。
11. 若者が魅力を感じなくなり、町から出て行く。

負のスパイラルに入り込んでいる多可町、子供増やす対策をしなかったら、多可町はやがて消えます。

町長は、町の将来を左右する「生涯学習まちづくりプラザ」や「新ごみ処理施設」、「統合中学校」の建設事業が本格化してまいります。時期的に大きな事

業が重なってしまうことにはなりますが、「多可町の将来を考えると、いまこのタイミングで進める必要があります。健全な財政状況を維持しながら着実に実施してまいります」。と言われましたが、このタイミングでこの事業をする事は、村が崩壊し、やがて町が崩壊する引き金になります。

負のスパイラルに入り込んでいる現在。子供を増やす施策が必要です。全国には子供の数を増やすため特化して財源を使っている自治体もあります。多可町には選択肢が「もっと子供を増やす思い切った政策」か「企業誘致に積極的に進める」かを今やらなくては3大事業も「水泡に帰す」ことになります。

多可町という企業を運営される町長。収入を上げることを考えるのがトップの仕事、「企業誘致に全国を駆け巡れ」。お金だけが行政ではないが、多可町企業が大きく成れば住民も豊かになる。町長の所見を聞く。

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
 多可町議会議員 藤原 清勝

受 領 日	番号
令和 5 年 3 月 7 日 午前 8 時 3 0 分	12

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 令和 5 年 4 月からの地域局の業務変更について	町長
<p>広報たか 3 月号に加美・八千代地域局は「地域共生社会づくりの活動拠点」として体制づくりを行いますとあります。また、少子高齢化社会に対応するためとあります。急速に進展する人口減少によって、地域局の利用者も少なくなるばかりなのでしょう。でも、三町合併の頃の新しい多可町の誕生を喜び、明るい未来の多可町を期待したはずだったと思うのですが。そこで、せめて戸籍の死亡届だけでも受付を続けるべきと考えます。それは、ご不幸があるとすべきことに追われ、本庁に出向くのが大変になるからです。</p>	
2. 水道メーター検針業務の効率化について	町長
<p>多可町の水道メーター検針は、委託業者の方が検針に回っています。よって、毎年委託料が支払われています。一軒ごとに蓋を開けて検針することは、大変な労力を必要とするはずでず。時には、蓋の上に車が駐車して検針できないこともあるはずでず。私の自宅は、固定電話がありません。よって FAX もありません。プロパンガスも電気も検針に来られません。業者の携帯端末に検針データが自動で送られているからです。正確に検針するためにも、水道メーターの検針もそのような自動検針が必要と考えます。</p>	
3.	

一般質問通告書

【第 119 回定例会】

多可町議会議長 笹倉 政芳 様
多可町議会議員 日原 茂樹

受 領 日	番号
令和 5年 3月 7日 午前 11時 8分	13

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 民生委員の担い手不足解消に取り組み	町長
別紙詳細	
2. 元気アップ広場をもっと広めよ	町長
別紙詳細	
3.	

質 問 の 内 容

民生委員の担い手不足解消に取り組め

民生委員は、民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っており、創設から100年以上の歴史を持つ制度です。また、民生委員は児童福祉法によって「児童委員」も兼ねており、妊娠中の心配ごとや子育ての不安に関する様々な相談や支援をしています。

核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人や、障害のある方・高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。そのような中で民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めています。

複雑多様化した昨今の社会では、安全・安心な地域福祉社会の実現には必要不可欠な存在ですが、全国でその重責の担い手不足が続いています。

担い手不足の原因には、時間的制約や高齢化、精神的・肉体的な負担など様々な分析がされています。それぞれの市町でも対策を行っていますが、担い手不足の解消にはつながっていません。

多可町にお住まいの方々が安全・安心に暮らすためには、人と人とのつながりというものが極めて重要であると考えます。

しかしながら、核家族化の進展とともに人と人とのつながりが希薄化し、一人暮らしの方や、あるいは高齢者、さらには子育てなどの悩みを抱える世帯が孤立する傾向が強まっており、それに伴い支援を求める方も増加していると認識しています。

また、近年、老々介護や8050問題など、複雑で難しい課題を抱える世帯も増えていると思われ、なるべく早い段階で支援の手を差し伸べることが必要と考えます。

こうした中、民生委員は、地域住民の見守り役として身近な相談相手となり、支援を必要とする方と行政や専門機関との橋渡しをするなど、地域において大変重要な役割を過去においても現在においても担っていただきます。

民生委員のなり手不足が集落の区長さんの中でも課題となっています。地域福祉のつなぎ役として、地域の訪問や相談支援だけではなく、地域福祉活動、集落活動の手伝い、各種会議・会合への参加など、非常に多忙で負担感が増してきています。また、活動に必要な経費は支給されますが、上限があり、熱心に活動していただける方ほど手弁当になりかねません。このような状況から、

民生委員になることに尻込みしている人もいらっしゃるようです。

民生委員の担い手不足解消のためには、民生委員の役割や責任、活動のほかに民生委員の皆さんが社会に求められている重要な職責を担っていただいていることを広く社会に周知をする必要があります。

多可町は民生委員の担い手不足解消に向けどのように取り組んでいくのか、町長の所見を伺います。

元気アップ広場をもっと広めよ

介護が必要な状態（要介護状態）になることの予防や、要介護状態の軽減や悪化の予防をするための取組を「介護予防」といいます。大きな病気や健康の不安がない人も、加齢とともに心身の機能が低下し、要介護状態になるリスクが増加しますので、自ら積極的に健康の維持増進や介護予防に取り組むことが大切です。

健康寿命の延伸のためには、高齢者一人一人が健康に関心を持ち、介護予防の視点を持って生活することが重要と考えられます。多可町では高齢者のための「元気あっぷ広場」で介護予防事業に取り組んでいます。

地域包括支援センターでは高知市が開発し、全国的に取り組まれ、筋力アップの効果がみられている「いきいき百歳体操」を元気あっぷ広場にて週1回取り組めるように立ち上げ支援をしています。準備体操、筋力運動、整理体操で構成され、ゆっくりとした動きや椅子に座っての動きが中心なので、体力の低下している人でも行うことができます。

1人ではなかなか続かない体操も、仲間と交流しながら行うことで、楽しみながら継続することができます。体操に参加されている方から「週一回みんなと会えるのが楽しみ。」「体操を続けて、疲れにくくなった。」との声も聴くようになっています。

多可町 SDGs 未来都市宣言の中で、今後取り組む課題として『平均寿命が伸びている中、健康寿命をいかに延伸するかが課題である。しかし、意識的に運動を心がけている人の割合は男女ともに年々減っている。高齢化率が高い本町において、高齢者が高齢者を支える必要性が生じているため、早期の運動習慣で心身を鍛えることが課題となっている。加えて、誰もが地域社会の中で助け合い、支え合いながら、それぞれの持ち味を發揮できる土壌づくりが必要である。また、移動手段を確保するとともに、誰一人孤立・孤独化することのないよう、多様な主体による居場所づくりや社会参画できるしくみづくりが課題である』と述べられています。

元気あっぷ広場は運動などの健康づくりに取り組む介護予防、高齢者が集える交流の場所、近所の方を見守り支えることができるなど、多くの利点があります。町長の施政方針に掲げておられる協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現にもつながります。

多可町として今後、元気あっぷ広場をどのように広げ、「地域共生社会」の実現につなげていくのか町長の所見を伺います。